研究課題名	造影 CT の血管外漏出の予測と漏れ検知サポートシステムの使用基準の設定
研究期間	実施許可日 ~ 2030年 3月 31日
研究の対象	2012年4月から2025年3月の間に、広島大学病院にて造影 CT 検査を受けた患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：CT の造影剤注入時に発生する血管外皮下漏出を予測し、血管外漏出予防センサー（Nemoto 社製造影剤モレ検知サポートシステム、以下、漏れセンサー）の使用基準を設けることを目的とします。これにより、血管外漏出リスクの高い患者に対し、適切に漏れセンサーを使用することで、血管外漏出の予防または最小限化に寄与できる可能性があります。</p> <p>研究の方法：過去 13 年間、本院で造影 CT 検査を施行して、血管外漏出のあった患者さんおよび血管外漏出のなかった患者さんを多変量解析（ロジスティック回帰分析）し、血管外漏出に関連する因子を特定し、あらかじめ予測することで、漏れセンサーの使用基準を設けます。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテや画像情報から患者因子、造影剤因子、オペレーター因子などのデータを取得します。個人を特定可能な情報は解析に用いません。
外部への試料・情報の提供	広島大学単独で実施する研究のため外部への情報提供は行いません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022年10月21日）以降随時
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないようにします。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学</p> <p>准教授 中村 優子</p>
その他	開示すべき利益相反関係はありません
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果

には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独自性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5563

広島大学病院 CT 検査室 稲富輝